熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	L さん(仮名)
所属	
留学先機関名	シドニー工科大学 (国名: オーストラリア)
留学先所属	□ 特定の学部・研究科に所属 (学部・研究科) □ 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☑ その他: Australian Language and Culture Program
留学期間	2018 年 2 月 - 2018 年 11 月 留学開始時 学年
奨学金	✓ JASSO 海外留学支援制度□ トビタテ!留学 JAPAN 【第 期】□ その他(

1. 出発前の準備について

ビザの種類	☑ 有 □ 無☑ 国内 □ 現地種類(学生ビザ(サブ ビザ申請先 場所(オンラインでオーストクラス 500))□ ラリア移民局のサイトから)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	ビザの申請はオンラインで行ったが、そのためにまずオーストラリア移民局の公式サイトで使える Immi Account を作った。申請の際は、OSHC と入学許可証の情報が必要。わからないことが多かったため一か月ほどかかった。
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	・海外留学生健康保険 0SHC の申請 ・留学先の大学の入学許可証の申請 ・トラベルプリペイドカードの申し込み ・海外旅行保険への加入
留学に向けて 取り組んだ語学	✓ 英語 □ 独語 □ 仏語 □ 中国語□ 韓国語 □ その他 (語)
勉強方法	大学の講義時間外に開かれていた IELTS 対策講座に参加した。また、過去の問題集を解き、自己流ではあるが解説を読んで復習した。
留学先の手続き (必要書類、大変だっ たこと、どのように取 り組んだか等)	学生寮の入寮申請はとにかく早く行っておくべきだった。申請か遅かったため(年の瀬間近)空きがかなり少なくなっており、結果として入れなかった。また、春学期の授業に関しては渡航前に履修希望届のようなものを出した。わからないことは同じ大学に通う予定の友人と相談したり国際教育課の担当の方に助言をいただいたりした。
事前の必要経費 (<u>留学前</u> に必要な 支払い費用) ※概算費用	□ 授業料 円 □ 寮費 円 □ 語学研修費 円 □ 教材費 円 ☑ ビザ申請 48,000 円 渡航費(☑片道 □往復) 70,000 円 海外旅行保険料 円 ☑ その他(学生寮申し込み費) 3,300 円

2. 渡航~到着時の生活について

			1 1 1 1 / 64 - 34 - 34 11 4	
	0		│skyticket(航空券予約サイ│ │	
利用航空会社 	フィリピン航空	手配	ト)	
			※利用したサイト、旅行会社等	
 移動経路	福岡(福岡空港) → マニラ(ニノイ・アキノ	到着	現地時刻 12:05	
※往路のみ	→ マーノ (二ノイ・アヤノ 空港)	時刻	【※移動時間(約 17 時間)】	
-	→ シドニー(シドニー空港)			
大学(寮)への			迎え ロタクシー	
移動手段	☑公共交通機関(□バス	☑電車)	□その他(
空港から移動する	 空港近くの駅より電車で移	動。片道	\$17 00 弱。	
際の注意点			が買えるのでそれを使用した。	
│ <u>行き方、料金等</u> │		分 尼	ロナヴの数性 ロウハマ	
住居のタイプ	口寮 ロアパート	住居	□大学の斡旋 ☑自分で	
	その他(ホームステイ)	手配	その他()	
	 □一人部屋		□日本人学生	
 部屋の種類	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		口他国からの学生	
HPAE VAILEN	♥ 一八印座 その他()	メイト	☑その他(ワーキングホリデ	
			一の日本人	
	在豪日本人のためのサイト Jams TV で入居者を募集していた物件			
住居の申込手順	を探し、記事を出した人に連絡の後何件かの内見を経て決めた。正			
	式入居の前にレントの前払	いをした	0	
住居でのトラブル	特になし。			
および解決方法	141-200			
大学への交通手段	 住居から最寄りの駅までバスで移動 → 電車で Central Station			
(※費用がかかれば費用も)	まで行き、そこから徒歩で約 10 分。往復で約 \$10.00。			
	生活費計 82,500 円/月			
	(生活費内訳)			
	住居費: 50,000 円/光熱費: 円/通学費: 10,000 円			
生活費および内訳 (概算を円換算)	食費: 20,000 円/通信費: 2,500 円/書籍代: 円			
(ベ昇で口換昇) 	その他:() 円			
	※学費・寮費以外に留学先	大学へ納	入するもの: 円	
	ベラダー	-)	
			·	
			ドを契約していたこともあって	
その他生活で必要な			で不自由はしなかった。携帯電	
手続き、アドバイス	話の通信に関しては SIM カードを使うのが便利だと思う。私の携帯電 話は契約して日が浅かったのもあって SIM フリーにできなかったた			
(口座開設、保険、	あは契約して日が浅かうたのもあって SIM フリーにてきなかっただ め、空港の携帯ショップの店員さんに相談の上ポケット Wi-Fi を使っ			
携带電話、荷物、			まったり充電が6時間しか持た	
支払い方法など)			ほどで手持ちの携帯電話を SIM	
			□切り替えた。私の周りは渡航後 、して使っている人が多かった。	
	に気地で 31M ノリーの携帯	电品で開入	して関うている人が多かつに。	

3. 留学先の大学について

ークラス 20 人ほど。学期ごとに、IELTS 対策を主とする授業がひ とつ、オーストラリアの文化、情勢などを学ぶ・調査する授業が2 授業(カリキュラム) つ。評価の仕方は前者がペーパーテストやスピーキング(IELTS 方 の概要について 式)、後者がプレゼンテーションとレポート。どの授業でも席の近 い人同士やグループでの話し合いが多い。 ☑渡航前 □渡航後 ⇒ (月頃) 履修登録の時期 ☑オンラインで登録 □志願書類の提出 登録方法 □その他(☑有り(具体的には以下のとおり) 留学生特例措置 ・留学生のための学期前オリエンテーション ・私が受けていた Australian Language and Culture Programで (履修制限、優先措置、 は、履修できる授業は一学期に3つのみ 留学生専用のオリエ ンテーション、チュー ター制度等) 口無し 語学に関しては、定期的にスピーキングの練習の場が設けられて 留学先大学でのサポ いた。指定されたお題に沿って短時間で自分の意見を言うものと、 一ト体制について - つの議題についてグループ内で意見の交換をするものがあっ (語学面/学校生活/ た。また、留学中に困ったことがあればサポートセンターで相談す 住居・日常生活等) ることができた。 留学開始後に行った 渡航後に学生証の発行手続きを行った。オンラインで自分の写真 留学先大学の手続き を送り、それが受理されてから指定された受け取り場所に取りに (学生証、履修登録、 行った。受け取りの際にはパスポートが必要だった。 大学 ID の設定等) 回数は多くないが、drawing circle に入って活動していた。学期 前のオリエンテーションでサークルやグループ一覧の入った冊子 授業外活動について が配られ、そこに書いてあった連絡先に参加したい旨を伝えて入 (サークル、部活、イ ンターン、フィールド り方を教えてもらった。基本的に一箇所に集まって話しながら自 ワーク等) 分の好きな絵を描いたりスケッチをしたりするという活動をし ※どうやって探したか、 た。また、学校からのメールで情報を得て企業説明会に参加した どのような活動か、入る り、ホームステイ先の伝手から東日本大震災復興支援のためのボ きっかけなども具体的に

ランティアに参加したりもした。

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00				勉強			
11:00				加强			勉強
12:00					授業		旭强
13:00						サークル	
14:00						9-970	
15:00	授業	サークル	授業				
16:00		9-970		スピーキン			
17:00				グ練習講座			
18:00							
19:00							
20:00		アルバイト				アルバイト	アルバイト
21:00							
22:00							
23:00			- Gh 34		#h 3+		
24:00	勉強		勉強		勉強		

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果 (語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、 コミュニケーション能力など自由に記載してください)

目に見えて英語力が上がったわけではないが、IELTS の各スコアが少しだけ上がった。 また、授業でほかの人との議論が多かったおかげなのか、自分の意見を言うことにあまり ためらいを感じなくなった。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス(留学先大学、プログラムに関すること、 生活全般に関することなど自由に記載してください)

授業が始まる前に課題が出されるので、UTSonlineの確認はまめに行うのが良いと思う。課題の提出は学校側から通知が来ないので自分で確認するしかない。また、情報交換の場にもなるのでサークルなどには積極的に参加する。JASS というサークルは日本人学生が多いので先輩などからいろいろ話が聞けると思う。

住居に関して、私は留学を通してオフキャンパスに住んでいた。学生寮に入っていないと、学校のことについて情報が入りづらい、交友関係が広がりにくいなどのデメリットがある。ただ、学校関係以外のコミュニティを持つのもいいと思うので、最初の学期は学生寮に入り、余裕があるなら生活に慣れた後の学期はオフキャンパスに住むことを選択肢に入れておくといいと思う。

留学を通しての感想

留学前は、ビザや入学許可証など諸手続きが多くて何から手を付けていいかわからず、 期日も迫る中留学を決めたことを後悔したこともあった。至らないところだらけでサポート担当の方々にも迷惑をかけてしまった。渡航してからもわからないことが多く英語にも自信がなかったため落ち込むこともあったが、慣れると楽しいことも多かった。日本では経験できないこともたくさんあり、交友関係も広がったので留学に来てよかったと思う。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	M さん (仮名)
所属	<u>文</u> 学部
留学先機関名	シドニーエ科大学 (国名:オーストラリア)
留学先所属	☑特定の学部・研究科に所属 (Australian Language and Culture コース) □ 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 □ その他:
留学期間	2018 年 3 月 - 2018 年 12 月 留学開始時 学年 4 年次
奨学金	✓ JASSO 海外留学支援制度□ トビタテ!留学 JAPAN 【第 期】□ その他()



大好きなフラットメイトたち!



仲良しのフィリピン人の男の子とサーフィンしたとき

1. 出発前の準備について

ビザの種類		ビザ申請先	☑ 国内 場所(□ 現地)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	ビザ(1日)			
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	OSHC の申請、シドニー 寮の申し込み	-工科大学から	受け入れ許可る	をもらう手続き、
留学に向けて 取り組んだ語学	✓英語 □ 独訓□ 韓国語 □ そ	雪 □ 仏 その他(·語 □ 「 語)	中国語
勉強方法	ゼミの先生にライティ 練習相手になってもら リーディング、リスニ	った。ライテ	ィングは毎日	書きつづけた。
留学先の手続き (必要書類、大変だっ たこと、どのように取 り組んだか等)	IELTS のスコアが必要 6.5) そのスコアを取ること		, , , ,	
事前の必要経費 (<u>留学前</u> に必要な 支払い費用) ※概算費用	□ 熊大への授業料系 □ ホテル代予約費用 □ ビザ申請 系 渡航費(☑片道 □征 海外旅行保険料 □ その他(引っ越し	月 7000円 5 48000円 注復) 65000	円 円 53000 円	

2. 渡航~到着時の生活について

利用航空会社	アシアナ航空	手配	スカイスキャナー		
11)/II/II/II		י ה	※利用したサイト、旅行会社等		
移動経路	福岡→仁川(韓国)→シドニ	到着	午前8:45		
※往路のみ	_	時刻	【※移動時間(約22時間)】		
大学(寮)への	□大学手配の出迎え □	知人の出	迎え ロタクシー		
移動手段	☑公共交通機関(□バス				
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	えない。最低チャージ費用	が 10 ドル	構入してチャージしなければ使 レからで、空港線は特に高くセ)で、20 ドル前後チャージする		
住居のタイプ	□寮 ☑アパート	住居	□大学の斡旋 ☑自分で		
住店のダイフ	その他()	手配	その他()		
	☑一人部屋	/	□日本人学生		
部屋の種類	口二人部屋	ルーム	☑他国からの学生		
	その他()	メイト	その他()		
住居の申込手順		Flatmates というサイトを見て、気になる家のオーナーに連絡し、 内見して個人契約するという流れ			
住居でのトラブル	オーナーを诵して不満を言	うしまい	れば、直接互いに注意しあう		
および解決方法	人もいる		TOTAL EIGHT TELESTICS		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	Chatswood という郊外に住んでいたので、毎日電車通学するとして 1週間でおよそ70 ドルほどかかった。				
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 170000 円/月 (生活費内訳) 住居費: 85000 円/光熱費:住居費に含まれていた/ 通学費: 22000 円 食費: 50000 円/通信費: 4000 円/交際費: 9000 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの: 0円 (徴収された費用の名目:)				
	・口座は渡航して1ヵ月以内	に開設した	ないと必要書類が増えて面倒だと		
その他生活で必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	聞いたのでアルバイトすることを考えていたことから生活が落ち着いてすぐ開設した(Commonwealth という銀行)。 ・保険は無くても実際元気にやってる人もいるが、風邪を引きやすい体質であったことから何度か病院に行く機会があったり、国内旅行で飛行機がキャンセルされたこともあったので補償の幅が広いとやはり安心した。 ・携帯電話はSIMロックを解除できるならしておいた方が便利だったSIM				
	フリーの端末を購入して利用していたが動きも遅く使い慣れたケータイがよかったと感じる場面が多かったので、直前でよほどのことがない限り iphone 利用者は機種変更しなくていいと思う。				

3. 留学先の大学について

ーコマ3時間、週3コマという時間に余裕のあるカリキュラムだ った。所属する Australian Language and Culture コースはオー 授業(カリキュラム) ストラリアの文化(メディア、仕事、歴史など)や、英語(IELTS) の概要について に特化した授業から選ぶ形であった。 ☑渡航前 □渡航後 ⇒ (月頃) 履修登録の時期 ☑オンラインで登録 □志願書類の提出 登録方法 口その他(☑有り(具体的には以下のとおり) 留学生特例措置 ・オリエンテーション(1回目に出席できなかった人用)もある ・IELTS のスコアはライティング 6.0 あれば、オーバーオールが (履修制限、優先措置、 6.5に届かなくても他学部の授業を取ることができる 留学生専用のオリエ ンテーション、チュー ター制度等) 口無し 留学先大学でのサポ 留学生用のサポート課はあるので質問や、後期での所属学部変更 一ト体制について の質問はしやすかった。 スピーキング、ライティングをサポートしてくれる無料の授業も (語学面/学校生活/ 住居・日常生活等) あった。(UTS HELPS) 学生証はメールで届いた URL からサイトにとんで、写真の設定を 留学開始後に行った して許可が下りた後に、受け取り場所と時間を設定して取りにい 留学先大学の手続き った。 (学生証、履修登録、 履修登録も ID も渡航前にメールが届いて各自行うので渡航後は手 大学 ID の設定等) 続きがなかった。 JASS という日本人に興味があるローカルの学生と、日本人留学生 をつなぐサークルがあってイベントに少しだけ参加した。留学す 授業外活動について る日本人はみな入っている、と聞いたので流れで入ることになっ (サークル、部活、イ た。登録費用に 10 ドルかかった。(メンバーになると後のイベン ンターン、フィールド ト費用が半額になったりする)ピクニックに出かけたり、手巻き寿 ワーク等) ※どうやって探したか、 司パーティーがあったりと新しく友達を作るのにいいきっかけで どのような活動か、入る はあったが、ちょっと独特な空気の私の苦手なタイプの人も多く きっかけなども具体的に 最終的には行かなくなった。

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	起床	起床	起床	起床	起床		
10:00						起床	
11:00		・予習・課題		・予習・課題			起床
12:00		ア首・味趣		76 味趣	授業		
13:00		昼寝			技未		
14:00					復習・課題	フラットメ イトと遊ぶ -	
15:00	- 授業 ネットフリックスみて ゴロゴロ		+ □ ₩				友人と遊ぶ
16:00		ックスみて	授業				
17:00				昼寝			
18:00					昼寝		
19:00							フラットメ
20:00							イトとご飯
21:00	アルバイト			アルバイト		アルバイト	
22:00							
23:00		就寝	就寝				
24:00							就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果 (語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、 コミュニケーション能力など自由に記載してください)

くものの考え方>

- ・度胸がついたと思う。一人で海外に行ったことがなかったので自分で手続きをして、家 探しもなんとかできて今こうして暮らせていることがとても自信につながった。
- ・初めて外国人とシェアハウスをしてみて、新しい文化に出会えるポジティブな側面だけでなく、自分の思うようにならないネガティブな側面にも直面することも多々あって (キッチンを汚されたり、夜中うるさくされたり)、ある程度受け入れつつ、我慢できないことは本人と話し合う力がついた。
- ・人は人、自分は自分と考えられるようになった。前は「●●がこう言ってるから」と振り回されたり、合わせることが多かったが、付き合う友達も自分が苦痛と感じる友人との交友関係を必要以上に保たないようにできるようになった。関わる友人が一緒にいて楽で、尊敬できる人であるとストレスもなくなって前よりも楽しく過ごせるようになった。当たり前のようで意外にできてないことだったので個人的に感じた大きな成長だ。

<語学に関して>

英語も前に比べればすらすら出るようになった。授業だけでなく家や友人、SNS での投稿時、なるべく英語に触れる機会を増やしたからできるようになったんだと思う。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス(留学先大学、プログラムに関すること、 生活全般に関することなど自由に記載してください)

都会の中にあるため立地は良く過ごしやすい場所です。また、日本人留学生も多くいることから、最初は折角の留学で日本人と関わるなんて嫌だ、ともやもやした時期が私にはありましたが、よく考えるとその日本人をつてに知り合える外国人もまた沢山いました。この環境をいかにうまく使えるかがシドニー工科大学での生活を楽しめるかどうかの一つのカギになってくるかな、と考えています。ぜひ、サークルなどに顔を出してみてください。私は運動が苦手で運動に関するサークルに入ることはありませんでしたが、スポーツやダンス、音楽は国は違えども仲良くなる大きな手段だと感じる機会が多くありました。私は、友達の数はとても少ない方だと思いますが、フラットメイトや他愛ない話をできる学校の友達を大事にしてよく出かけたり、お互いの国のご飯を作り合いっこして仲良くなっていました。英語ばかりつかうと頭も心も疲れる時期は必ずやってきます。病み病みモードの時は遠慮なく一旦好きなものを食べて好きなことをして、リフレッシュする時間を大切にしてくださいね!慣れない環境だからうまく頑張る時間と気を張らなくていい時間のバランスを自分でとっていくのが大切だと思いました!

あと、シドニーにある COCO というタピオカミルクティーのあるティーショップがとって もおいしくておすすめなので疲れたときは立ち寄ってみてください(^O^)

留学を通しての感想

「行ってよかった。」そう思えるような留学を志して生活してきました。今ここでの9か月間の生活を振り返ってみて、シドニーにきてよかったなあととても思います。留学する前は、将来海外を飛び回れるようなキャリアウーマンになるんだ、と意気込み、駐在の練習をするためにも自力で海外に出て生活を送るためにこの交換留学を選びました。そうして9か月暮らしてみて「私は将来日本で暮らしたい。」と気付けました。今回の留学で家族や友人、恋人など離れたくない大事な人と離れて暮らし、コミュニケーションを頻繁に以前のように取れないもどかしさを多々感じました。そして、彼らがいかに私の生活を支える大切な存在であるかもよく感じることができた9か月間でした。したがって将来は大事な人のそばに、何かあったら駆けつけることができる距離に住むことの方が、海外で暮らすことよりも大切だと自分の中ではっきりと整理がついたので「行ってよかった。」と思えます。もちろん、英語力の向上や新しい友好関係など得られるものも多くあったから感じる達成感もありますが、いかに私が普段家族に頼っていたかもよく分かる留学生活でした。

ここでの経験を通して、今後も学習は続けて、一人で行ったことのない国にどんどん旅に 行こう、とまた新しい目標を立てることができたのでよかったです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	N さん (仮名)
所属	工_学部
留学先機関名	シドニー工科大学 (国名:オーストラリア)
留学先所属	☑ 特定の学部・研究科に所属(理学部・研究科) □ 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 ☑ その他: ALAC (Australian Language and Culture Course)
留学期間	2018 年 2月 - 2019 年 1月 留学開始時 学年 3_年次
奨学金	□ JASSO 海外留学支援制度□ 国際奨学事業☑ トビタテ!留学 JAPAN 【第 7 期】□ その他 ()



Morisset Park でカンガルーと写真撮影



放課後にバスケットボール



ボランティアで仲良くなった友達 (ペンキ塗りしてるところ)

1. 出発前の準備について

ビザの種類	☑ 有 □ 無 種類(学生ビザ)	ビザ申請先	☑ 国内 □ 現場所(オーストラリ	_
必要書類、手続き 手続きに要した期間	OSHC (学生保険) に登録 CoE 取得(受入許可書] 2 週間)、
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	寮の申し込み、海外係 設立)	保険に加入、(剤	毎外でも使用できる銛	見行口座の
留学に向けて 取り組んだ語学		は語 □	仏語 □ 中国 語)	語
勉強方法	IELTS の参考書(過去 の IELTS 講座の受講	問、精読、音詞	売)、IELTS 単語帳、熊	本大学で
留学先の手続き (必要書類、大変だっ たこと、どのように取 り組んだか等)	IELTS の基準点を突破ったので、点数を取る			
事前の必要経費 (<u>留学前</u> に必要な 支払い費用) ※概算費用	□ 語学研修費	8000 円 注復) 約	寮費 — 円 教材費 0円 1 20 万円 53000円 円	

2. 渡航~到着時の生活について

			STA Travel	
利用航空会社 	カンタス航空、JAL 航空	手配	※利用したサイト、旅行会社等	
		到着	9 時 35 分	
※往路のみ	福岡 - 羽田、羽田 - シドニー	時刻	【※移動時間(約14.5 時間)】	
大学(寮)への	□大学手配の出迎え □]知人の出	迎え ロタクシー	
移動手段	☑公共交通機関(□バス	☑電車)	□その他(
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等			的に公共交通機関を使えない。 t市営電車なので通常より料金	
 住居のタイプ	□寮 ☑アパート	住居	□大学の斡旋 ☑自分で	
住店のダイン	その他()	手配	その他()	
	☑一人部屋	ルーム	□日本人学生	
部屋の種類	口二人部屋	メイト	口他国からの学生	
	その他()	71 F	その他(タイ人7名)	
住居の申込手順	Flatmates.comに登録して にメールを送り、内見を行		し、気になった部屋の大家さん た。	
住居でのトラブル	│ │内見の際に聞いておきたいことを確認する。例:退去の仕方、友達│			
および解決方法	を部屋に呼んでもいいのか			
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	徒歩 15 分			
生活費および内訳(概算を円換算)	生活費計 10万円/月 (生活費内訳) 住居費: 9300円/光熱費: - 円/通学費: 0 円 食費: 3万 円/通信費: 0 円/書籍代: 0 円 その他:(交際費) 2万 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの: 0円 (徴収された費用の名目:)			
その他生活で必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	などの大きな銀行ならどこは住んでいたので 2 週間に行から大家さんの銀行に送携帯電話は SIM フリーロー 着してすぐに SIM を購入し	でもよい こ1回の3 金するや ックにして 差し替え たので日	ておけば、オーストラリアに到 るのが一番簡単(私はtoratora 本でオーストラリアの SIM を	

3. 留学先の大学について

授業(カリキュラム) の概要について	前期 (ALAC コース): 週に3回3時間での授業で、オーストラリアの文化や仕事環境、メディアに関してセミナー形式で勉強した。後期 (Science 学部): 3か4教科選択可能。選択した学部に関係なく、いろんな教科を受講する。
履修登録の時期 登録方法	☑渡航前 □渡航後 ⇒ (月頃) ☑オンラインで登録 □志願書類の提出 □その他()
留学生特例措置 (履修制限、優先措置、 留学生専用のオリエ ンテーション、チュー ター制度等)	 ☑有り(具体的には以下のとおり) ・留学生専用オリエンテーション有 ・後期に ALAC から学部にトランスファーする際はライティング 6.0点あればオーバーオール 6.5点なくても、学部に移行できることがある。 ・交換留学生であり、申請しとけば、テストの際 1 時間につき 10分の延長と、英語辞書を借りることができる。 □無し
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/ 住居・日常生活等)	ALAC コースでは IELTS の点数を上げるために(特にライティング) 特化した授業がある。また HELPS という団体があり、英語を話せ る機会が設けられること、IELTS の勉強ができる講座なども開講す ることがある。
留学開始後に行った 留学先大学の手続き (学生証、履修登録、 大学 ID の設定等)	学生証のための写真が必要でした (ネットで登録)。日本にいるときに使えそうな写真を撮っていると便利。
授業外活動について (サークル、部活、イ ンターン、フィールド ワーク等) ※どうやって探したか、 どのような活動か、入る きっかけなども具体的に	オリエンテーション数日後に Clubs Day があり、そこでいろんなサークルや部活がブースを出しているので、そこで興味があるものに入った。新しい友達をつくるいい機会なので少しでも興味があれば、入っておくのがおすすめ。(参加費に 5 ドルかかるところもある)

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	±	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00	Environmental Chemistry- lecture						
11:00				Introduction	研究室で実 験		
12:00		Introduction to Materials -U:PASS	Introduction to Materials -practical	to Materials -tutorial			
13:00						シド	シドニー観
14:00	授業の予習 (pre-lab等)			Introduction to Materials -lecture	Netball		シドニー観 光
15:00		研究室で実験	研究室で実験・				
16:00							
17:00				Badminton			
18:00							
19:00	Environmental Chemistry - practical						
20:00						Badminton	
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果 (語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、 コミュニケーション能力など自由に記載してください)

まず語学に関しては、授業ではもちろん、ローカルの子や、サークルで仲良くなったと話す時も英語であるため、シドニーに来て半年たったあたりでローカルの子に英語上手になったといわれたときは自分でも英語の上達を実感していたときで客観的にもそのように評価してもらえて、英語の上達をより強く実感できた。またシドニーで IELTS を受講し、6.5点をとれたことも大きな成果であり、自信にもつながった。

物事に取り組んでいく姿勢に関しては、シドニーでいろんなことに自分から一人で飛び込んでいける力をつけることができた。私は、シドニーに来た時、大学に友達がいなかったので、友達をつくるためにたくさんのサークルに参加したり、イベントに飛び込んでいったりした。それによって、いろんなところで友達が増え、交友関係を広げることができた。これによって、コミュニケーション能力や積極性が大いに上達した。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス (留学先大学、プログラムに関すること、 生活全般に関することなど自由に記載してください)

大学で留学したいと思っている人、興味が少しでもある人は、まず留学した人に話を聞いてみたり、大学の国際課に行って情報をもらったり、何かしらの行動を起こしてみてください!思っているだけでは留学できないし、ほんのちょっとのきっかけで私みたいに留学を決めるかもしれません。留学すれば、環境はもちろん、友達、1日の過ごし方など何もかもが変わります。だからこそひとまわりもふたまわりも成長するいい機会であり、新しい世界を自分の目で見て体験するのはすごく面白いです。人生が今まで以上に豊かになった気持ちになります。社会人になればなかなかできない経験なので、大学生のうちにぜひ挑戦してみてください!

留学を通しての感想

留学は自分がその 1 年間をどのように使うかで全く違ったものになると強く実感した。 留学することを目的に来た人と、留学して何をしたいのかを考えている人では、その一年 間で得るものが全く違った。留学している自分にどこまですれば満足するかは人それぞれで、そのハードルをどこに決めるかで左右されると思った。私にとってこの留学は「走り続けた」留学であった。留学期間中、自分の中で小さなゴールを目指し、達成すればまた新しいゴールに向かって走っていたそんな留学だった気がする。そのモチベーションとなったのは同じように留学している友達の頑張っている話を聞くこと、また共有することだった。あの子があれだけ頑張っているんだから自分も負けてられないといった気持ちでいろんなことに自分から挑戦していき、乗り越えていけたと思う。この留学で1年前より、精神的にも強くなれたし、たくましくなれたと確信している。この留学を武器に就活も乗り切っていきたい。